

# 農作業コツのコツ

【第11号】

令和4年7月2日  
福光農業改良協議会  
砺波農林振興センター南砺班  
福光農業協同組合 営農部

水稻の生育は、概ね平年並みとなっていますが、今後の天候（高温）によっては早まる可能性があります。早生品種は出穂期まで**飽水管理**を、コシヒカリやてんこもり、直播栽培は幼穂形成期頃まで**間断かん水**を行い、稲体活力の維持を図りましょう。

## 水稻の生育状況

(6月28日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数 (本)		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期		
	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	
とみちから	5/ 2	5/ 3	62.8	62.2	27.7	25.6	11.9	11.5	4.5	4.3	6/24	6/24	
五百万石	5/ 3	5/ 3	58.0	56.1	17.8	19.0	12.6	12.2	4.5	4.3	6/27	6/25	
てんたかく81	5/ 2	—	59.5	—	29.5	—	11.1	—	4.3	—	6/26	—	
コシヒカリ	5/14	5/13	53.7	53.1	24.5	23.2	10.5	10.7	4.2	4.2	—	7/10	
てんこもり	5/10	5/ 8	46.2	45.4	37.1	34.0	11.7	11.4	4.4	4.2	—	7/13	
密苗	てんたかく81	5/ 2	—	57.9	—	26.5	—	11.2	—	4.2	—	6/27	—
	コシヒカリ	5/16	5/15	51.0	46.6	22.2	29.0	10.4	10.6	4.3	4.2	—	7/13
	てんこもり	5/ 7	5/ 9	44.7	43.1	30.1	37.1	11.0	11.3	4.2	4.2	—	7/15
直播	カルパーコシ	5/ 2	4/30	48.7	52.3	167	178	10.4	9.9	4.2	4.1	—	7/14
	鉄コ コシ	5/ 2	4/30	54.1	45.7	202	169	9.9	9.9	4.4	4.3	—	7/16
	鉄コ てんこ	4/27	4/30	42.5	38.6	225	198	10.7	10.5	4.4	4.4	—	7/20

調査筆数：調査筆数：とみちから2筆 五百万石2筆 てんたかく81筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗てんたかく3筆 密苗コシ3筆 密苗てんこ2筆 直播各2筆  
※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

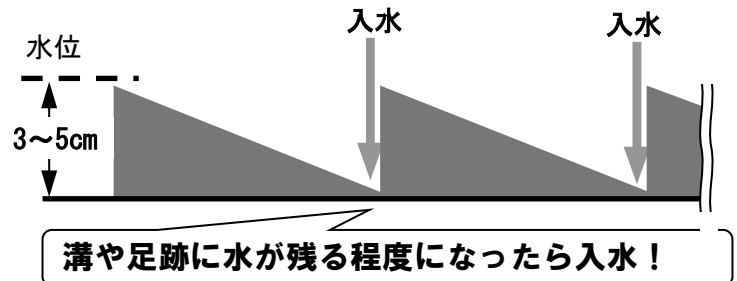
## 水稻

### 1 水管理

#### (1) とみちから、五百万石、てんたかく81

- ①溶出された穂肥成分を効率的に吸収し、稲体の活力を維持するため、出穂期まで足跡に水が残る程度の**飽水管理**を行いましょ。う。
- ②五百万石で葉色の濃いほ場では、過剰着粒を防ぐため、7月上旬頃まで**間断かん水**を継続しましょ。う。

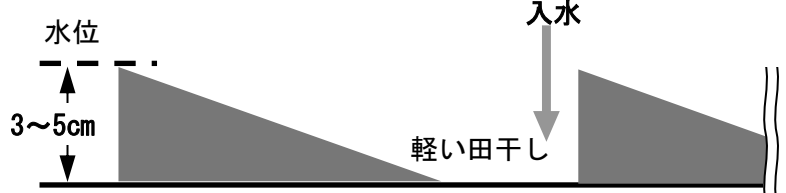
#### 飽水管理



#### (2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ①**間断かん水**を行い、幼穂形成期までに足が3cm沈む程度の硬さに仕上げましょ。う。
- ②干し過ぎは葉色の低下を招くので注意しましょ。う (てんこもり)。
- ③茎数が過剰なほ場では、**落水期間がやや長めの間断かん水**を行いましょ。う (直播)。

#### 間断かん水



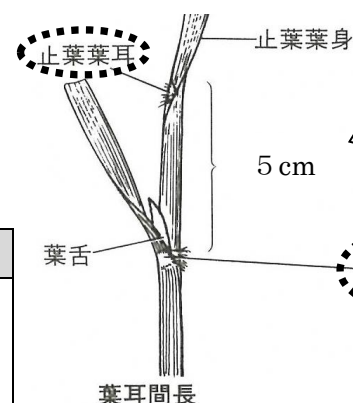
### 2 穂肥施用

#### (1) とみちから、五百万石、てんたかく81

肥効調節・分施肥系ともに、出穂7日前に葉色を確認し、葉色が極端に淡い場合は出穂3日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょ。う。

#### ○早生品種の追肥施用の目安

品種	葉色確認	葉色	施用量
とみちから	7月9日頃	4.5以下	追肥3号 10kg/10a
五百万石		4.2以下	
てんたかく81		4.0未満	



#### 出穂7日前の目安

止葉と上から2枚目の葉の葉耳の間隔が5cmになった時期

止葉の下の葉の葉耳

熱中症にならないよう、作業前・作業中は水分と塩分を補給し、こまめに休憩をとりましょ。う。

下流域まで水が行き渡るよう、地域で計画的な用水の利用に努めましょ。う。

## (2) てんこもり

### ①肥効調節体系（基肥：Jコートてんこもり専用）の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。
- ・ただし、幼穂形成期前後、**葉色4.0**以下の場合は、直ちに**追肥3号**で10a当たり**11kg**程度施用しましょう。

### ②分施肥体系（基肥：基肥555）の場合

**1回目穂肥**は幼穂長1mmを確認したら、直ちに（5月10日植えで7月9日頃）追肥3号で10a当たり**11kg**施用しましょう。

## 3 病害虫防除

### (1) 畦畔等の草刈り

- ①水田周辺の雑草地等では斑点米カメムシが平年並みに多く確認されています。畦畔の**草刈り**を徹底しましょう。
- ②雑草の穂が斑点米カメムシの繁殖場所となるため、一斉草刈り後は草の穂が出ないようにこまめに草刈りを行いましょ。

### (2) 随時防除

- ①**葉いもち**、**紋枯病**の病斑や葉を食害する害虫を発見したら、早期に防除しましょう。
- ②**イナゴ類**の発生が多い場合は、若齢幼虫期（6月下旬～7月上旬）に防除を行いましょ。
- ③茎数がやや過剰なほ場では**紋枯病**の発生が懸念されます。現在、早生品種は防除適期（出穂14日前頃）なので、発生が見られたら速やかに防除しましょ。

#### ○随時防除の目安

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				1,000倍で60～150ℓ
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60～150ℓ
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	穂ばらみ期 まで	出穂10日前まで	—	4kg
	トライフロアブル		収穫14日前まで	2回以内	1,000倍で60～150ℓ
イナゴ類(若齢) イネアオムシ イネツトムシ コブノメイガ	トレボン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	3回以内	4kg

※詳しくは、「営農とくらし」P52～53を参照してください。

## 大豆

### 1 培土

生育量の確保と雑草の抑制のため、**培土**は確実に2回行いましょ。

#### ○培土の目安

- 1回目は本葉2～3葉期 → 子葉が隠れるまで（播種後3週間頃）
- 2回目は本葉4～5葉期 → 初生葉が隠れるまで（播種後5週間頃）

### 2 雑草防除

(1) 培土後に雑草が残った場合は早めに除草剤を散布しましょ。

※詳しくは、「営農とくらし」P89を参照してください。

(2) 多量の降雨が予想される場合は、除草剤の使用は避けましょ。

### 3 溝の手直し

降雨の後に溝に水が停滞している場合は、**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょ。

リアルタイムに情報をお伝えするため、電子メールによる情報提供を行っています。右のQRコードから登録画面に進めます。詳細はJA福光営農部までお問い合わせください。

